

彼方小だより

家庭数配布

富田林市立彼方小学校

令和3年11月号

「地域とともに」

校長 藤井 貞彦

朝夕の冷え込みが厳しくなり、先月の中旬は、秋を飛び越えて冬がやってきたかのような寒さでした。ここにきて秋らしいさわやかな日が続き、今年も無事に運動会を実施することが出来ました。昨年に引き続きコロナ対応で規模の縮小と入場制限を設けましたが、多くの保護者の皆さんにご参加いただき、盛況のうちに終わることが出来ました。PTAの役員をはじめ各委員の皆さん他、多くの保護者の皆さんに片付けまでお手伝い頂きました。本当にありがとうございました。



さて、昨日（11月1日）は運動会の代休でしたが、本校の120回目の創立記念日でもありました。学校沿革史には「明治34（1901）年11月1日、彼方尋常小学校・板持尋常小学校を合併し、新たに彼方尋常小学校を設置す。これ本校の創立記念日なり。」と記されています。明治の初めには彼方小学校・伏見堂小学校・板持小学校があったのですが、その後合併や移転を経て、現在の所在地に彼方小学校としてまとまったのが、今から120年前の11月1日なのです。そこから校舎の増改築や新築を繰り返して現在に至っています。

5月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校でも全職員で結果を分析し、今後の教育課題を共有したところです。その中に「地域の行事に参加していますか？」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか？」という設問がありました。どちらも50%近くの子どもが肯定的に答えていたのです。コロナ禍で地域の行事が実施されない中で、半数近くの子がこのように地域の事を考えているということに驚きました。地域に大切にされるためには、我々がこの歴史ある地域に誇りを持ち、地域の一員として新しい歴史を作っていくという気持ちが大切だと思います。

緊急事態も解除され農業体験（いもほり、稲刈り）や、地域めぐり（秋見つけ、水辺の生き物さがし）に行きました。11月には農家見学（3年生保護者の皆さんありがとうございます）にも行く予定です。また、毎日の見守り活動等で地域の皆さんに温かく支えていただいています。自然豊か（ときおり、サルやイノシシたちもやってきます・・・）、歴史ある（^{おちかた}「彼方の^{はにふ}赤土の小屋に^{わがも}小雨降り床さへ濡れぬ身にそへ吾妹」万葉集より）この地域で、地域から信頼される学校になれるように取り組んでいきます。変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いします。



※「学力・学習状況調査」の結果は裏面に掲載しております。ぜひ、ご一読ください。